

【胃癌】の【治療】のため、当院に入院・通院された患者さんの 【診療情報】を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 外科学（一般・消化器） 職名 准教授
氏名 川久保 博文
連絡先電話番号 03-5363-3802

実務責任者 所属 外科学（一般・消化器） 職名 准教授
氏名 川久保 博文
連絡先電話番号 03-5363-3802

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの【診療情報】を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2001 年 1 月 31 日より 2012 年 7 月 31 日までの間に、【一般・消化器外科】にて【胃癌】の【治療】のため【入院または通院】し、【手術】を受けた方

2 研究課題名

承認番号 20120337

研究課題名 80 歳以上高齢者での胃癌術後不整脈例の術前、術中因子の検討についての
後ろ向き観察研究

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部【外科学（一般・消化器）】

慶應義塾大学病院【一般・消化器外科】

4 本研究の意義、目的、方法

本研究は、80 歳以上高齢者での胃癌術後不整脈例の術前、術中因子を明らかにするための後ろ向き観察研究です。高齢者では、十分な術前の評価を行い、全身状態に合わせた縮小手術、

嚴重な周術期管理を行っても心肺機能の予備能の低さから様々な術後合併症により重篤な状態に陥ることがあります。当施設でも、高齢化に伴い 80 歳以上の高齢者胃癌手術症例が増加傾向にあります。特に術後に不整脈を合併する症例が多く、治療に難渋することがあります。そのため、術前からその発生因子を予測することで適切な対応を行い、周術期の患者状態を改善できる可能性があります。今回、80 歳以上高齢者での胃癌術後不整脈例の術前、術中因子を明らかにし、よりよい術後管理を行うため、術後の不整脈予測因子を検索することを目的に研究を行います。

5 協力をお願いする内容

本調査におきましては、対象となる方の、既往歴、身長、体重、肺活量等の情報、手術時間、輸液量、出血量、手術後の経過に関しまして、診療録などの記録を参考に調査いたします。従いまして、皆様に新たなご負担をおかけすることはありません。

6 本研究の実施期間

西暦 2012 年 12 月 11 日 ~ 2020 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、【氏名および患者番号】のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの【診療情報】は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した【診療情報】を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、【情報の利用】の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

住所：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

電話：03-5363-3802

担当者：慶應義塾大学医学部 外科学（一般・消化器） 川久保 博文

以上